

こどものSOSをどう受け止めるか

CAPおとなワークショップ

in 南大東村



『もうどうでもいい』『自分なんかいなくなればいい』
『誰も信じられない』『消えてしまいたい』

虐待、いじめ、性暴力等、暴力の被害を受け、苦しみの中にいても、そのことを誰にも話せず、孤立しているこどもは大勢います。周りに対して攻撃的になったり、暴言や暴力をふるったり、心を閉ざすなど、こどもの様子がおかしいと気づいた時、気になる時、どのように対応したらよいのでしょうか。

こどものちょっとした変化を見逃さず、小さなSOSに気づくために必要な視点と、SOSに気づいたときに私たちおとながどうすればよいか、一緒に考えてみませんか。

参加費
無料

日程 2026年 **1月30日** (金) 17時30分～19時30分

会場 南大東村保健センター

講師 おきなわCAPセンター



内 容

- こどもへの暴力とは何か
 - ー どうしたら被害を防げる？
- CAPこどもワークショップ体験
 - ー 安心、自信、自由の権利
 - ー 友だちからイヤなことをされたとき
- こどものSOSに気づく視点と適切な関わり方
 - ー こどもを守るためにおとなにできること
 - ー 相談先紹介 ほか



CAPとは…

Child Assault Prevention (こどもへの暴力防止) の頭文字をとったもので、こどもが暴力から自分を守るための予防教育プログラムです。おきなわCAPセンターは1996年に発足。県内各地の小学校を中心に、保育園、こども園、中学校、高校、児童養護施設、各市町村、教育関係機関、地域などでワークショップ、講座、研修会を実施しています。

昨年の参加者からの感想

- 楽しく学べた上に、子どもの立場に立った問題解決方法が見つかった。
- 「人権」を分かりやすく子どもに伝える場を見ることができて学びになりました。
- 仕事でも家庭でも活かせる内容でした。聞くだけでなくみんなで考えられたのがよかったです。
- 具体的でとてもわかりやすかったので、職場の研修に取り入れたいと思いました。
- こどもの権利とこどものSOSを受け止める方法を知ることができました。
- こどもにとって相談しやすい声かけやすい大人になることで虐待の未然防止になると気づいた。

対 象 小・中学校教諭、幼稚園・保育所職員、役場職員、
こども・子育て支援関係者、関心のある方

問い合わせ先：南大東村役場 保健センター（担当：畑）

電 話 09802-2-2116

申し込み不要
直接会場へお越しください

